平成29年度において国の地方創生関連交付金を活用して実施した事業の効果検証　～国の基準による効果検証～

資料４

No.	総合戦略における施策分野	交付対象事業の名称	取組内容	交付金の種類（補助率）	実績額（事業費） 単位：円 ※連携事業の場合は本市分の事業費	本事業における重要業績評価指標（KPI）					実績値	今後の方針
							指標	指標値	単位	目標年月		
1	Ⅰ-4 ③	がいな創生新事業展開支援事業	市内中小事業者、商工団体等が新たに展開する事業のうち、地方創生の実現に資する地域への経済波及効果が見込める事業及び地域の課題解決に向かう事業に対し、立ち上げ期の事業に係る経費を支援する「がいな創生新事業展開支援補助金」を平成28年度に創設した。 平成29年度においては、鳥取県雇用人材局就業支援課、とっとりプロフェッショナル人材戦略拠点と連携をとりながら、新産業の開拓に意欲的な企業、団体の情報収集、制度の活用案内を行なった。	①地方創生推進交付金（1/2）	0	指標①	当該補助事業の活用により創出されたエネルギー分野又は医療機器・バイオ分野の新事業の数	H30年度において 6 ※各年度2事業	事業	H31.3	0	引き続き、認定された地域再生計画『がいな創生新事業展開支援プロジェクト』に基づき、地方創生推進交付金を活用して取り組むこととしている。
						指標②	当該補助事業の活用により創出されたエネルギー分野又は医療機器・バイオ分野の雇用数	H30年度において 12 ※各年度4人	人	H31.3	0	
						指標③	地域外の専門人材のUIJターン数	H30年度において 6 ※各年度2人	人	H31.3	0	
2	Ⅲ-6 ③	二市連携ICT活用保育事業	岐阜県美濃加茂市と連携して保育版状態把握システムの具体的利用可能性や評価指標を構築するための実証事業を行った。あわせて、その実証内容を市民・家庭等に広報するとともに、本事業の普及展開を図るためセミナー等を開催した。	①地方創生推進交付金（1/2）	3,115,908	指標①	待機児童の減少数	H31年度において 30 ※H29目標：5人	人	H32.3	-2 ※H29年度 美濃加茂市：9 米子市：-11	引き続き、美濃加茂市と連携して、保育の質の向上、保育士の負担軽減などに取り組むこととしている。
3	Ⅳ-1 ②-D	名峰「大山」とともに生きる・鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクト	大山山麓観光推進協議会DMO推進調査部会として、鳥取県西部圏域の特産物、商品等の展示、販売及び誘客プロモーションを行う「大山ワンダー」を実施した。 また、大山をテーマとした情報発信テレビ番組の制作、放送や大山ブランド会とタイアップしたプロモーションとして高島屋のふるさと納税パンフレットに大山ブランド商品を掲載しPRしたほか、大阪活性化事業実行委員会代表理事を講師に招いた講演会を開催した。 さらに、伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会として、鳥取県及び関係市町村と協働連携し、下記事業を実施した。 ●歴史シンポジウム ●謎解き宝探し ●大山講座 ●米子市美術館常設展Ⅰ「大山の魅力」・特別展示「鳥取県ゆかりの刀剣」 ●霊峰大山～大山の根源を探る旅 ●秋のたいまつ行列	①地方創生推進交付金（1/2）	19,482,945	指標①	観光入込客数（年間）	H32年度において 11,140,000 ※H29目標： 10,720,000	人	H33.3	9,230,000	引き続き、認定された地域再生計画『名峰「大山」とともに生きる・鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクト』に基づき、地方創生推進交付金を活用して取り組むこととしている。
						指標②	外国人宿泊者数（年間）	H32年度において 394,330 ※H29目標：126,702	人	H33.3	140,530	
4	Ⅳ-2 ④	中海・宍道湖・大山圏域ブランド化推進プロジェクト	外国人観光客受入環境整備（観光関連事業者への研修・指導、コミュニケーションシート・対応マニュアル作成、観光案内所ネットワーク化事業、案内所・飲食・物販連絡会結成）等を実施した。 また、圏域DMOである中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構を設立した（平成29年7月14日）。 平成29年度は圏域内マルシェを米子市で開催し、圏域外でのマルシェ（大阪市・芦屋市）、協力事業を実施した。また、圏域外向け2次展開事業（出展者研修会及び交流会、海外展開事業、バイヤーズツアー）、マッチング商談会を実施した。	①地方創生推進交付金（1/2）	8,700,000	指標①	圏域への観光客入込数	H32年度において 40,700,000 ※H29目標： 34,758,784	人	H33.3	27,445,058	引き続き、認定された地域再生計画『中海・宍道湖・大山圏域ブランド化推進プロジェクト』に基づき、地方創生推進交付金を活用して取り組むこととしている。
						指標②	圏域での外国人宿泊客数	H32年度において 123,000 ※H29目標：104,628	人	H33.3	117,397	
						指標③	山陰いいものマルシェ来場者数《累計》 ※H27（45,000人）からの累計	H29年度において 150,000	人	H33.3	101,000 ※H29：23,000	
5	Ⅳ-2 ⑦	中海・宍道湖・大山圏域のローカルToグローバルイノベーション	圏域の自治体、事業者、国立大学、高専で行われている産学・医工連携の取組をさらに推進するための支援体制づくりを行うため、平成29年度においては、中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会を設立した。支援事業の実施により、1件の医療機器実用化に至った。	①地方創生推進交付金（1/2）	5,700,000	指標①	圏域内企業等の優れた技術を活かした医療機器等の実用化件数 ※H30からの目標設定	－	件	H33.3	1	引き続き、認定された地域再生計画『中海・宍道湖・大山圏域のローカルToグローバルイノベーション』に基づき、地方創生推進交付金を活用して取り組むこととしている。
						指標②	入口・開発・出口の各支援事業（仮称）の相談件数 ※H29からの目標設定	H32年度において 400 ※各年度100件	件	H33.3	78 ※H29：78	
						指標③	入口支援事業(仮称)により研究事業へのマッチング成立件数 ※H29からの目標設定	H32年度において 20 ※各年度5件	件	H33.3	0 ※H29：0	

No.	総合戦略における施策分野	交付対象事業の名称	取組内容	交付金の種類（補助率）	実績額（事業費） 単位：円 ※連携事業の場合は本市分の事業費	本事業における重要業績評価指標（KPI）					実績値	今後の方針
						指標		指標値	単位	目標年月		
6	Ⅳ-1 ②-D	山陰のド真ん中！皆生温泉圏域観光拠点整備事業	皆生温泉のランドマークとして、新たな観光客誘客や地元の市民の利用の向上などを目的に、米子市観光センターの改修工事を行った。 （改修の概要） 〇誰もが利用しやすいよう、エレベーターを新設し、1階、2階のトイレを和式から洋式に改修。 〇宿泊客や地元住民の利用向上を図るため、2階の多目的ホールについて、防音のためサッシ交換、照明設備を改修。 〇老朽化した電気設備を改修し、館内を明るくしてイメージアップを図った。	②地方創生拠点整備交付金（1/2）	108,397,770	指標①	米子市観光センターの利用者数	H32年度において116,000 ※H29目標：106,000	人	H33.3	99,120	改修工事に伴い、施設利用に制限があったため、利用者数・売上高が減少することとなったが、今後は観光センターを圏域の観光拠点として活用するほか、集客性のあるイベント実施や、ギャラリーの集客向上のほか、施設利用のPRを強化するなど、利用者増とにぎわいの創出を図ることとしている。
						指標②	米子市観光センターの総売上高	H32年度において50,000 ※H29目標：15,000	千円	H33.3	6,830	

【凡例】
●交付金の種類
①地方創生推進交付金：「地方版総合戦略」に定められた自主的・主体的で先導的な事業を記載して作成した地域再生計画に基づく事業の実施を支援すること目的とする交付金（補助率1/2）。平成28年度から複数年の支援。
②地方創生拠点整備交付金：地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業のうち、未来への投資の実現につながる先導的な施設整備を支援すること目的とする交付金（補助率1/2）。